

平成26年度市民生活実感調査 政策分野ごとの主な御意見

政策分野名	主な御意見
1 環境	・ 節電・節水・ごみ減量等に取り組んでいるが、もっと効果がある具体的な対策を知りたい ・ 道路によくごみが落ちているので、ごみ箱をもっと設置して欲しい。
2 人権・男女共同参画	・ 共働きの場合まだまだ女性の負担が多いように思う。 ・ 障害者に対する偏見の目がまだまだ根強い。
3 青少年の成長と参加	・ 婚活をしているが、平日にもイベントを開催して欲しい。 ・ 子どもや若者が希望を持って生きていける市を目指して欲しい。
4 市民生活とコミュニティ	・ 町内会からの脱退者を失くすよう対策を打って欲しい。 ・ 転入してきた人が京都の人と馴染むのは難しい。
5 市民生活の安全	・ 歩きたばこを徹底的にとりしまりして欲しい。 ・ パトロール等により、子どもや女性が安心できるまちにして欲しい。
6 文化	・ 歴史や文化を大切にする、暮らしやすいまちになって欲しい。 ・ 市民茶会、市民音楽会など、子供達や孫も一緒に参加できるイベントが少ない。
7 スポーツ	・ 健康維持のためにも体力を培う運動施設を増やして欲しい。 ・ 市民スポーツ教室が少ない。
8 産業・商業	・ 京都カラーの企業を誘致し、育成してもらいたい。 ・ 若い人が働けるように。
9 観光	・ 観光地にトイレが余りにも少ない。 ・ 外国語の道路標識が少なく、観光客が困っているのをよく見かける。
10 農林業	・ 京都産スギ・ヒノキをもっと生活の中で使って欲しい。 ・ 食料自給率の低さを考えると、京都の農業を守り振興することは非常に重要。

1 1 大学	・ 歴史，文化，大学を大事にしていきたい。 ・ 地域のお祭りを大学生が企画・参加するなど活動が活発になってきている
1 2 国際化	・ 旅館などが外国人にしっかり対応できるよう指導して欲しい。
1 3 子育て支援	・ 安心して子どもを預けられる保育所が居住する地域内だけなのが困る。 ・ 学童保育を延長して欲しい。
1 4 障害者福祉	・ 障害者がいきいきと生活できるまちに ・ 障害のある子，家族が暮らしやすい町になって欲しい。
1 5 地域福祉	・ 生活保護受給者の受給資格に関する調査をしっかり実行して欲しい。
1 6 高齢者福祉	・ 高齢者が楽しいと思える京都に ・ 敬老乗車証を続けて欲しい。
1 7 保健衛生・医療	・ 脳ドックの補助をお願いしたい。 ・ ペットの飼い主のマナー向上の取組をして欲しい。
1 8 学校教育	・ 道德教育の充実を ・ 京都市内の学校教育の格差を失くして欲しい。
1 9 生涯学習	・ 市民講座で多くの分野があれば嬉しい。
2 0 歩くまち	・ 京都市南部の公共交通が不便 ・ 地下鉄の運賃が高い。 ・ 自転車用道路の整備と自転車マナーの向上
2 1 土地利用と都市機能配置	・ 都市機能と消防・防災を推進して欲しい。 ・ 中心市街地以外の地域も発展させて欲しい。
2 2 景観	・ 無電柱化を進めて欲しい。 ・ 京都らしい景観の保全を
2 3 建築物	・ 建築確認申請後に違反建築をしているのが目立つ。 ・ 火災などの災害に被害が大きくなりそうな路地が多く不安
2 4 住宅	・ 空き家が目立つ。
2 5 道と緑	・ 子どもが安心してたくさん遊べる広さの公園が増えて欲しい。 ・ 道路の整備を急いで欲しい。

2 6 消防・防災	・ 京都のまちを守りつつ，大地震，大火災への対応，安全な場所の確保が大事 ・ 原子力発電の危険性をもっと検証して欲しい。
2 7 暮らしの水	・ 水道料金が低い ・ 川をもっと美しくして欲しい。
その他	・ 市の方針，メッセージを市民しんぶん等でもっと強く発信して欲しい。 ・ 税金の無駄遣いをなくして欲しい。 ・ 京都市の中でも，教育や交通の便利さ，設備など地域の格差があり過ぎ。